

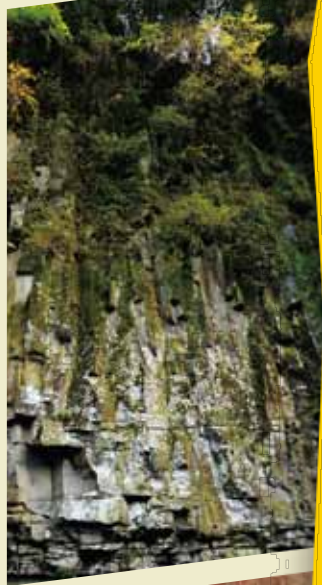


日本一のおんせん県



第10回日本ジオパーク全国大会

2019 おおいた大会報告書



Wa! 「わ」を体験しよう!

2019 10/31(木) ▶ 11/5(火)

■主催

第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会実行委員会
(おおいた姫島ジオパーク推進協議会、おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会、大分県)
一般財団法人 自治総合センター

目次

ごあいさつ	1
開催概要	2
参加者数等	3
大会プログラム	4
開催報告	
11月1日(金)	6
11月2日(土)	8
11月3日(日・祝)、11月4日(月・振替休日)	12
分科会報告	17
口頭発表プログラム	22
ポスター発表	24
プレジオツアー	26
ポストジオツアー	29
会場周辺	33
大会宣言	34
実行委員会名簿等	35

10th
National Conference
of JGN
in Oita
2019
2019.10.31-11.05



ごあいさつ



第10回日本ジオパーク全国大会
2019おおいた大会実行委員会
名誉委員長（大分県知事）

広瀬 勝貞

「第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会」は、県内外から多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。厚く御礼申し上げます。

おおいた姫島ジオパーク、おおいた豊後大野ジオパークと大分県が一体となり、第10回という節目の大会に臨み、各種講演、パネルディスカッションや分科会、口頭・ポスター発表に加え、趣向を凝らしたジオツアーや今回初めて実施した全国ジオパークブロック別パビリオン等、様々なプログラムを準備しました。テーマとして掲げた「Wa!〜『わ』を体験しよう!〜」を体現し、今後のジオパーク活動の活性化につながるすばらしい大会になったと考えます。

本大会の開催にあたりご協力いただいた日本ジオパークネットワークの皆様、地元の皆様をはじめとする多くの方々に感謝申し上げますとともに、おおいたのジオパークへのまたのお越しを心からお待ちしております。



第10回日本ジオパーク全国大会
2019おおいた大会実行委員会
委員長（おおいた姫島ジオパーク
推進協議会会長、姫島村長）

藤本 昭夫

「第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会」を、多くの皆様にご参加をいただき、無事終了することができましたことを深く感謝申し上げます。

本大会は、大分市、豊後大野市、姫島村の三会場で各々の役割分担のもと開催いたしました。

姫島会場では、10月31日から2日間「ジオガイド分科会」が行われ、全国から参加されたジオガイドの皆様と姫島村の人達と一緒に、ジオガイドの皆様のコミュニケーション向上のための「ワークショップ」で学び、「交流会」、姫島をフェリーで一周する「ジオクルーズ」、「ジオツアー」、「郷土料理」を楽しみ、交流の輪が広がりました。

参加された皆様には、本大会のテーマである3つのWa!（「ワッ!」、「和」、「輪」）を体験していただけたと思います。

本大会の開催にあたり、ご支援、ご協力をいただいた関係の皆様にご心より御礼申し上げますとともに、全国のジオパークの益々のご発展をお祈りいたします。



第10回日本ジオパーク全国大会
2019おおいた大会実行委員会
委員長（おおいた豊後大野ジオパーク
推進協議会会長、豊後大野市長）

川野 文敏

「第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会」は、多くの皆様にご参加いただき大盛況のうちに閉幕することができました。これもひとえに全国のジオパーク関係者や市民の皆様のご協力の賜と心から厚く御礼申し上げます。

また、豊後大野会場では、招待講演や各種発表、分科会、ジオツアーなどに積極的にご参加いただきましたが、私自身、皆様のジオパーク活動に真剣に取り組む姿勢に感銘を受けたところです。

さらに、今回、初めて取り組んだ「全国ジオパークブロック別パビリオン」では、皆様にジオパークそのものを知り、大会テーマに掲げた3つのWa!（「ワッ!」、「和」、「輪」）を感じ取っていただけたものと思っています。

結びに、本大会の運営に当たりご協力を賜りました全ての関係者の皆様、そしてご参加いただきました皆様に衷心より感謝申し上げます。

開催概要



大会名称 第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会

テーマ Wa!～「わ」を体験しよう!～
ジオパークに触れると、驚きや感動の「ワッ!」、自然と人との調和の「和」、
人と人とのつながりの「輪」を実感できます。
さあ、おおいたで3つの「Wa!」を体験して、未来へつなごう!

会期 令和元年10月31日(木)～11月5日(火)

会場 [姫島会場] 離島センター「やはず」
[大分会場] iichiko総合文化センター、レンブラントホテル大分、ソレイユ、
ホテル日航大分オアシスタワー
[豊後大野会場] エイトピアおおの、豊後大野市役所、中央公民館、三重体育館

主催 第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会実行委員会
(おおいた姫島ジオパーク推進協議会、おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会、大分県)
一般財団法人 自治総合センター

共催 特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク/日本ジオパーク委員会

後援 内閣府/総務省/外務省/日本ユネスコ国内委員会/文化庁/林野庁/経済産業省/国土交通省/観光庁
/環境省/ESD活動支援センター/九州地方ESD活動支援センター/大分県教育委員会/大分市教育委員
会/大分合同新聞社/NHK大分放送局/OBS大分放送/TOSテレビ大分/OAB大分朝日放送

協賛 島原半島ジオパーク協議会/阿蘇ジオパーク推進協議会/霧島ジオパーク推進連絡協議会/桜島・錦江湾
ジオパーク推進協議会/天草ジオパーク推進協議会/三島村ジオパーク推進連絡協議会/北九州ジオパー
ク構想/五島列島ジオパーク推進協議会
大分航空ターミナル株式会社/北海道地図株式会社/九州建設コンサルタント株式会社/協同エンジニア
リング株式会社/地熱ワールド工業株式会社/株式会社豊肥環境センター/大分県椎茸農業協同組合/大
分県商工会連合会/公益社団法人大分県薬剤師会/佐伯印刷株式会社/株式会社菅組/全日本空輸株式
社/特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会/株式会社地域科学研究所/T・プラン株式会社/
日本航空株式会社/姫島車えび養殖株式会社/株式会社ブレンネット/大分県酒造組合/大分県信用組
合/一般社団法人大分県地質調査業協会/大分県農業協同組合/大分信用金庫/株式会社オルゴ/株式
会社川邊組/基礎地盤コンサルタンツ株式会社/国土防災技術株式会社/株式会社友岡組/豊後大野市商
会・姫島村商工会/明大工業株式会社/大分県温泉調査研究会/大分県建設業協会大野支部/株式
会社おおいた姫島/株式会社技術開発コンサルタント/株式会社ケイミックスパブリックビジネス(豊
後大野市総合文化センター指定管理者)/里の旅リゾート ロッジきよかわ/株式会社トヨタレンタリース大分/
西日本技術開発株式会社/西日本コンサルタント株式会社/日本地研株式会社大分支店/株式会社ぶんご
おおのエネルギー/株式会社ますの井

事務局 第10回日本ジオパーク全国大会 2019おおいた大会実行委員会事務局(大分県生活環境部自然保護推進室内)
〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1

参加者数等



■大会参加者数

No.	ブロック名	地域名	参加者数	ブロック計	正・準
1	北海道	アポイ岳	19	58	正
2		洞爺湖有珠山	7		正
3		白滝	9		正
4		三笠	4		正
5		とちか鹿追	8		正
6		十勝岳	10		準
7		上川中部	1		準
		その他	0		
8	東北	磐梯山	8	80	正
9		男鹿半島・大湯	9		正
10		八峰白神	7		正
11		ゆざわ	9		正
12		三陸	9		正
13		栗駒山麓	5		正
14		下北	9		正
15		鳥海山・飛鳥	17		正
16		蔵王	1		準
17		月山	0		準
		その他	6		
18	関東	伊豆大島	5	90	正
19		下仁田	7		正
20		秩父	3		正
21		箱根	9		正
22		銚子	7		正
23		筑波山地域	12		正
24		浅間山北麓	11		正
25		茨城県北	1		準
26		古関東深海盆	0		準
27		三宅島	0		準
28		那須烏山	5		準
			その他		30
29	甲信越中部	糸魚川	12	87	正
30		南アルプス	3		正
31		恐竜渓谷ふくい勝山	7		正
32		白山手取川	9		正
33		佐渡	13		正
34		伊豆半島	19		正
35		立山黒部	9		正
36		苗場山麓	6		正
37		飛騨山脈	1		準
38		東三河	3		準
39		飛騨小坂	0		準
		その他	5		
40	中四国近畿	山陰海岸	38	194	正
41		室戸	16		正
42		隠岐	14		正
43		四国西予	23		正
44		南紀熊野	14		正
45		Mine秋吉台	16		正
46		島根半島・宍道湖中海	15		正
47		萩	18		正
48		土佐清水	14		準
49		三好	10		準
		その他	16		
50	九州	島原半島	30	171	正
51		阿蘇	21		正
52		霧島	12		正
53		おおいた姫島	40		正
54		おおいた豊後大野	7		正
55		桜島・錦江湾	14		正
56		天草	1		正
57		三島村・鬼界カルデラ	15		正
58		北九州	2		準
59		五島列島	9		準
		その他	20		
	関係者	JGN・JGC・国機関	11	116	
		JGN海外招聘者	1		
		来賓・招聘者・協賛企業・実行委員	104		
	非登録参加者	一般来場者	1,963	2,192	
		報道機関	10		
		アトラクション出演者、運営協力者	219		
	合計			2,988	

■JGN主催会議等参加者数

月日	内容	人数
10/31	活動相談会	16
11/1	事前相談会(世界・日本)	34
	運営会議	91
	全地域事務局局長会議	61

■日別参加者数

月日	内容	人数
10/31	ガイド分科会(プレジオツアー) JGN活動相談会	106
11/1	プレジオツアー JGN事前相談会(世界・日本) JGN運営会議、全地域事務局局長会議 市町村長懇親会 事務局局長等懇親会	338
11/2	市町村長セッション 開会セレモニー、記念講演、基調講演 パネルディスカッション、大交流会 九州ブロックジオパークバビリオン、 体験ブース、展示ブース	1,790
11/3	招待講演、口頭発表 ポスター発表、分科会 全国ジオパークブロック別バビリオン、 体験ブース、飲食・物産ブース	1,602
11/4	口頭発表、ポスター発表、分科会、閉会セレモニー 全国ジオパークブロック別バビリオン、 体験ブース、飲食・物産ブース	1,079
11/5	ポストジオツアー	198
	合計	5,113

■プレジオツアー(5ツアー)参加者数

ツアー名等	人数
ぐるっと姫島ジオツアー	50
(村民、ガイド、運営協力者等)	40
小計(姫島)	90
まるごと豊後大野～七所いきめぐり～	26
ジオガイドと鑑賞する豊後大野の磨崖仏	21
谷を潤る虹！豊後大野石橋ものがたり	19
(ガイド、運営協力者等)	9
小計(豊後大野)	75
火山と信仰、阿蘇のエッセンス凝縮ツアー	8
(ガイド、運営協力者等)	5
小計(阿蘇)	13
合計	178
全体	178
うちツアー参加者	124
うち村民、ガイド、運営協力者等	54

■ポストジオツアー(8ツアー)参加者数

ツアー名等	人数
ぐるっと姫島ジオツアー	42
(ガイド、運営協力者等)	19
小計(姫島)	61
まるごと豊後大野～五所いきめぐり～	36
ジオガイドと鑑賞する豊後大野の磨崖仏	19
ナイス崖	11
地層！ご馳走！丸ごといただきっ！	6
湯～湧くのおおいた	14
(ガイド、運営協力者等)	15
小計(豊後大野)	101
「しょんなかと」南阿蘇	13
驚きと癒しの阿蘇カルデラと千年の大草原	13
(ガイド、運営協力者等)	10
小計(阿蘇)	36
合計	198
全体	198
うちツアー参加者	154
うち村民、ガイド、運営協力者等	44

■分科会参加者数

分科会名	人数
コミュニケーション技術の向上(ガイド)	50
あなたのまちにジオパークは必要ですか？(市町村長セッション)	46
五感で楽しむジオパーク(UD)	48
ジオサイトの保全の進め方を共有しよう(保全)	50
カードゲームを通してジオパークにおけるSDGsを理解する(SDGs)	33
合計	227

■懇親会、大交流会参加者数

月日	内容	人数
11/1	市町村長懇親会	42
	事務局局長等懇親会	116
11/2	大交流会	611

■口頭発表、ポスター発表件数

内容	件数	うち小中高生
口頭発表	54	14
ポスター発表	73	13

大会プログラム



10月31日(木)

15:00~17:00 JGN活動相談会〈ソレイユ 3階:牡丹〉
10月31日(木)~11月1日(金)
ガイド分科会(プレジオツアー)〈おおいた姫島ジオパーク〉

11月1日(金)

10:00~12:00 JGN事前相談会〈ソレイユ 7階:カトレア・アイリス〉
13:30~15:30 JGN運営会議〈ソレイユ 7階:カトレア・アイリス〉
15:40~17:40 JGN全地域事務局長会議〈ソレイユ 3階:牡丹〉
18:00~20:00 市町村長懇親会〈ホテル日航大分オアシスタワー 21階 エトワール〉
18:00~20:00 事務局長等懇親会〈ソレイユ 7階:カトレア・アイリス〉
11月1日(金)~11月2日(土)
プレジオツアー〈おおいた豊後大野ジオパーク/阿蘇ユネスコ世界ジオパーク〉

11月2日(土)

8:30~10:30 市町村長セッション〈ソレイユ 7階:カトレア〉
11:00~13:00 開会セレモニー〈iichiko総合文化センター グランシアタ〉

- ◆オープニングアトラクション
(国選択無形民俗文化財「姫島の盆踊」キツネ踊り) キツネ踊り保存会
- ◆主催者・共催者あいさつ
 - ・実行委員長(おおいた姫島ジオパーク推進協議会会長、姫島村長) 藤本 昭夫
 - ・日本ジオパークネットワーク理事長
(糸魚川ジオパーク協議会会長、糸魚川市長) 米田 徹
 - ・日本ジオパーク委員会委員長
(防災科学技術研究所火山研究推進センター長) 中田 節也
- ◆歓迎あいさつ
 - ・大分県知事(実行委員会名誉委員長) 広瀬 勝貞
- ◆来賓あいさつ
 - ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟事務局長・参議院議員 舞立 昇治氏
- ◆来賓紹介

衆議院議員	穴見 陽一氏
衆議院議員	衛藤 征士郎氏
衆議院議員	岩屋 毅氏
衆議院議員	横光 克彦氏
衆議院議員	吉川 元氏
参議院議員	足立 信也氏
参議院議員	安達 澄氏
参議院議員	衛藤 晟一氏
参議院議員	吉田 忠智氏
ジオパークによる地域活性化推進議員連盟事務局長次長・参議院議員	馬場 成志氏
大分県議会議長	麻生 栄作氏
豊後大野市議会議長	衛藤 竜哉氏
姫島村議会議長	大海 重好氏
内閣府地方創生推進事務局参事官補佐	伊東 晃男氏
九州経済産業局総務企画部長	田久保 憲彦氏
- ◆JGN表彰
 - 日本ジオパーク委員会初代委員長 尾池 和夫氏
- ◆第10回大会記念講演
 - 「日本列島の自然とジオパークの活動」 尾池 和夫氏
- ◆アトラクション 豊勇會太鼓(豊後大野市) 豊勇會

14:15~14:30

14:30~15:20	基調講演 〈iichiko総合文化センター グランシアタ〉 「風景」に「ストーリー」を見つける 日本放送協会制作局「プラタモリ」チーフ・プロデューサー 相部 任宏氏	
15:30~17:00	パネルディスカッション 〈iichiko総合文化センター グランシアタ〉 「伝える」ということ〜ジオパークの「Wa! (わ)」を広げるために〜 コーディネーター 竹村 恵二氏(京都大学名誉教授、おおいたジオパーク推進アドバイザー) パネリスト 相部 任宏氏(日本放送協会制作局「プラタモリ」チーフ・プロデューサー) ヴァファダリ カゼム氏(立命館アジア太平洋大学准教授) 福島 大輔氏(NPO法人桜島ミュージアム理事長) 渡部 順子氏(NPO法人おくふんごツーリズム研究所理事長)	
18:15~18:30	◆アトラクション 書道パフォーマンス 〈レンブラントホテル大分:二豊の間〉	大分高等学校書道部
18:30~20:30	大交流会 〈レンブラントホテル大分:二豊の間〉	

関連行事等

10:00~17:00	九州ブロックジオパークパビリオン、体験ブース、展示ブース 〈iichiko総合文化センター アトリウム、グランシアタ ホワイエ1・2階〉
-------------	--

11月3日(日・祝)

10:30~12:00	招待講演 〈エイトピアおおの 大ホール〉 How we work with the local communities?(地域社会との協働とは) 香港ユネスコ世界ジオパーク統括責任者 楊 家明(ヨンカミン)氏
10:30~17:30	口頭発表 〈エイトピアおおの 大ホールほか〉
10:30~17:30	ポスター発表 〈三重体育館〉 ◆コアタイム(15:00~16:30)
14:00~17:30	分科会 〈豊後大野市役所 2階中央公民館ほか〉
10:00~17:30	全国ジオパークブロック別パビリオン、体験ブース、飲食・物産ブース 〈豊後大野市役所前駐車場〉

関連行事等

10:00~15:30	みえまちホコ天2019“みえの市”(ぶんごおおの未来カフェ実行委員会主催) 〈JR三重町駅前通り〉
-------------	---

11月4日(月・振替休日)

10:30~12:00	口頭発表 〈エイトピアおおの 大ホールほか〉
10:30~13:30	ポスター発表 〈三重体育館〉
10:30~12:00	分科会 〈豊後大野市役所1階保健センター〉
10:00~13:30	全国ジオパークブロック別パビリオン、飲食・物産ブース、体験ブース 〈豊後大野市役所前駐車場〉
12:15~12:45	閉会セレモニー 〈エイトピアおおの 大ホール〉 ◆大会宣言 ・実行委員長(おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会会長、豊後大野市長) 川野 文敏 ◆次回開催地紹介及びあいさつ 中四国近畿ブロック 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会会長(松江市長) 松浦 正敬氏 ◆閉会のことば
12:45~14:00	昼食休憩
14:00~	ポストジオツアー出発

11月5日(火)

	ポストジオツアー 〈おおいた姫島ジオパーク、おおいた豊後大野ジオパーク、阿蘇ユネスコ世界ジオパーク〉
--	---

開催報告



11月1日(金)

JGN事前相談会 (ソレイユ)

ユネスコ世界ジオパーク推薦希望に7地域(11名)、日本ジオパーク認定希望に8地域(22名)の参加があり、JGN事務局進行のもと、現地審査員経験者等のオブザーバーを交え、ユネスコ世界ジオパーク推薦希望地域に対しては日本ジオパーク委員会の大野希一委員が、日本ジオパーク申請希望地域に対しては日本ジオパーク委員会の中田節也委員長が説明を行った。机上説明、質疑応答の後、日本ジオパーク申請希望地域のポスター発表を5件行い、発表したそれぞれの地域にオブザーバーや参加者から質問が寄せられた。

■ユネスコ世界ジオパーク国内推薦希望事前相談会参加地域

伊豆大島、霧島、白山手取川、箱根、南紀熊野、Mine秋吉台、萩



■日本ジオパーク申請希望事前相談会参加地域

茨城県北、飛騨山脈、土佐清水、十勝岳、三好、五島列島、上川中部

(うちポスター発表：飛騨山脈、土佐清水、十勝岳、三好、上川中部) 喜界町 (オブザーバー参加)



JGN運営会議（ソレイユ）

各地域の運営会議委員等91名が集まり、JGN運営について考えた。ジオパークプログラムについて基本に立ち返った話もふまえ、ユネスコ世界ジオパークのコンセプト図の読み解きや、ネットワークである意義の確認、ネットワークとして何をしていくかについて問題提起がされた。グループワークでは、今後のあり方についての意見交換を行ったが、グループによっては現在困っていることの共有等も行われた。



JGN全地域事務局長会議（ソレイユ）

59地域中55地域から参加があり、米田理事長、古川副理事長、中田JGC委員長も出席されるなか、10周年記念誌刊行やJGC審査状況、各ブロックの報告を行い、現地調査に関するアンケートや、役員改選についての協議と質疑応答が行われ、グループウェアやフードプロジェクト、各種コンテンツ収集活用事業等についての進捗状況の報告がなされた。

また、世界を視野に入れた今後の活動について意識の共有を行い、来年度のユネスコ世界ジオパーク国際会議へ参加しての情報発信や、済州島での全地域事務局長会議開催について日程等最新情報が共有された。



11月2日(土)

開会セレモニー (iichiko総合文化センター グランシアタ)

●オープニングアトラクション

国選択無形民俗文化財「姫島の盆踊」キツネ踊り
：キツネ踊り保存会



●主催者・共催者、歓迎あいさつ



実行委員長
(おおいだ姫島ジオパーク
推進協議会会長、姫島村長)
藤本 昭夫



日本ジオパークネットワーク理事長
(糸魚川ジオパーク協議会会長、
糸魚川市長)
米田 徹



日本ジオパーク委員会委員長
(防災科学技術研究所
火山研究推進センター長)
中田 節也



大分県知事
(実行委員会名誉委員長)
広瀬 勝貞

●来賓あいさつ



ジオパークによる地域活性化推進議員連盟
事務局長・参議院議員
舞立 昇治 氏



●日本ジオパークネットワーク表彰

表彰状授与 尾池 和夫 氏（日本ジオパーク委員会 初代委員長）

尾池和夫氏は、第24代京都大学総長在任中の2008年に日本ジオパーク委員会委員長にご就任、2018年に退任されるまでの10年間という長期間に渡って、日本ジオパークの発展にご尽力いただいた。また、日本地震学会や日本活断層学会などの団体や大学でも地球物理学に関わる分野を中心に活躍された。

これらの功績は日本ジオパーク活動や日本ジオパークネットワークの基礎となるものであり、ジオパークの普及発展への多大な貢献をたたえ、今回の受賞となった。

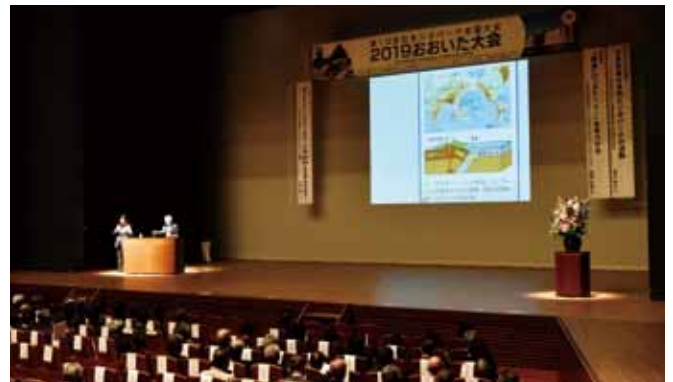


●第10回大会記念講演

日本列島の自然とジオパークの活動：前日本ジオパーク委員会委員長 尾池 和夫 氏

日本ジオパークの黎明期の活動や、大地の成り立ちに加えて、大地と芸術、史学、文学、防災等とのつながりなど多彩な話題を交えてこれまでの活動を振り返っていただいた。

今後、人口減少社会の中でジオパーク活動の持続可能な未来をつくるため、身近な暮らしの中にテーマを見つけつつ、千年先を見通して活動するよう示唆をいただいた。



●アトラクション

演目「ジオング」：豊勇會（豊後大野市）



司会：古森 佳子／手話通訳：大分県聴覚障害者協会

基調講演

「風景」に「ストーリー」を見つける：日本放送協会制作局「プラタモリ」チーフ・プロデューサー 相部 任宏 氏
視聴者に意外性を感じてもらうことを大事にし、日常の風景に関わる謎について、分野を超えた視点から解明していること等、制作にまつわるエピソードを織り交ぜながらご講演いただいた。



パネルディスカッション

「伝える」ということ ～ジオパークの「Wa! (わ)」を広げるために～

コーディネーター：京都大学名誉教授、おおいたジオパーク推進アドバイザー 竹村 恵二 氏

パネリスト：日本放送協会制作局「プラタモリ」チーフ・プロデューサー 相部 任宏 氏

立命館アジア太平洋大学准教授 ヴァファダリ カゼム 氏

NPO法人桜島ミュージアム理事長 福島 大輔 氏

NPO法人おくふんごツーリズム研究所理事長 渡部 順子 氏

「伝える」時に意識することやポイントについて討論するとともに、会場からガイド活動等における質問を受け、解決に向けた意見を述べた。

「伝える」ではなく、相手に「伝わる」ことが重要であり、受け手の視点を常に意識しながら伝え方をレベルアップさせていくとともに、楽しさを忘れず活動していくことが重要だとまとめられた。



大交流会（レンブラントホテル大分 二豊の間）

大分高等学校書道部による書道パフォーマンスのアトラクションから始まり、姫島車えび、豊のしゃも等をはじめとする大分の食材をふんだんに使用した料理や、おおいた銘酒館ゆたよいのスタッフによる地酒コーナー等が好評を得た。会場では参加者同士の交流があり、次回開催地である島根半島・宍道湖中海ジオパークがステージでPRを行った。



体験ブース (iichiko総合文化センター アトリウム、グランシアタホワイエ2階)



九州ブロックジオパークパビリオン



九州電力株式会社(地熱発電ゲーム等)



京都大学(ダジック・アース)



北海道地図株式会社(VR体験等)



日本ジオパークネットワーク(岩石標本作り)



会場の様子

展示ブース (iichiko総合文化センター グランシアタホワイエ1・2階)



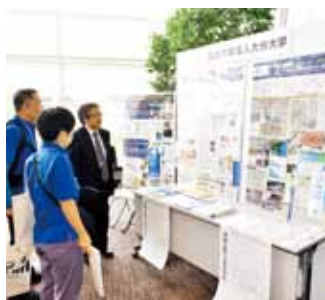
大分県観光案内(ツーリズムおおいた)



おおいたの温泉(大分県温泉調査研究会)



大分市



国立大学法人 大分大学



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク



国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会



大分県立埋蔵文化財センター



日本地質学会「ジオルジュ」



国立研究開発法人 防災科学技術研究所



湯沢市ジオパーク推進協議会



リトルリバーリサーチ&デザイン

11月3日(日・祝)、11月4日(月・振替休日)

招待講演 (エトピアおおの大ホール)

How we work with the local communities? (地域社会との協働とは)

講演者：香港ユネスコ世界ジオパーク 統括責任者 楊 家明 (ヨン カミン) 氏

ファシリテーター：日本ジオパークネットワーク事務局次長 古澤 加奈 氏

隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局長 野邊 一寛 氏

香港ジオパークのみならず、世界で活躍する講師に、ジオパークと地域社会、民間団体との協働等、先進事例についてご講演いただいた。会場から多くの質問もあり、貴重な時間となった。



司会：河野 みゆき / 通訳：津野 裕子 / 手話通訳：大分県聴覚障害者協会

口頭発表 (エトピアおおの大ホールほか)

本大会では口頭発表の拡充を行い、11月3日と4日にかけて口頭発表を実施した。今大会初となる小中高生の発表をはじめ、多くの発表が行われた。(口頭発表54件 うち小中高生による発表14件)



ポスター発表（三重体育館）

口頭発表と同様に、11月3日と4日にかけてポスター発表を実施した。コアタイムには多くの人が集まり、発表者の真剣な説明に耳を傾けた。（ポスター発表73件 うち小中高生による発表13件）



体験ブース（豊後大野市役所前駐車場 特設会場）

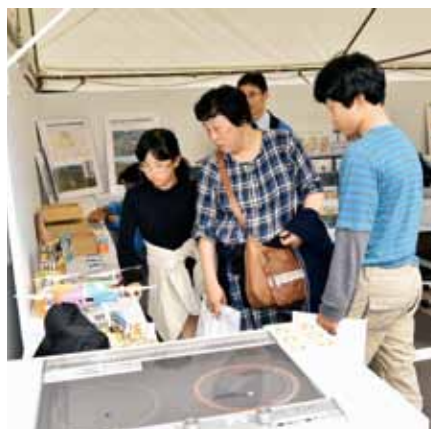
企業や大学、地元のジオパークガイド等がブースを出展した。来場者はジオパークやサイエンスをテーマにした岩石標本作りやVRコーナーなどの体験を楽しんだ。ガイドブースでは、オリジナル手ぬぐいの販売や顔出しパネルの記念撮影で賑わった。



北海道地図株式会社 (VR体験等)



京都大学 (地球儀工作等)



九州電力株式会社 (地熱発電ゲーム等)



日本ジオパークネットワーク (岩石標本作り)



おおいと豊後大野ジオパークガイド



会場の様子

全国ジオパークブロック別パビリオン（豊後大野市役所前駐車場 特設会場）

全国大会初の試みとなるブロック別パビリオンでは、それぞれの地域の特色を活かした様々な展示・体験コーナーが実施された。

北海道

タイトル：SDGs って何？私にできるSDGs って？ ～道内ジオパークのSDGsとの関わりについて～

- 内 容：
- ・大判ポスター3枚でSDGsや道内各地域ジオパークのSDGsの取り組みを紹介
 - ・自分でもできる、今からでもできるSDGsの取り組みを参加者が記載



東北

タイトル：行くぜ！！東北ジオパーク

- 内 容：
- ・体験！「射的シヤマ」…東北の狩猟集団が行う「春熊狩り」を模した射的ゲーム。東北地方限定の駄菓子やジオパークのグッズが景品
 - ・「東北の冬・雪・森」…東北地方特有の冬・雪・森といった美しい自然のポスターを展示
 - ・「東北の大地のなりたち」…「大陸からの贈りもの」「東北誕生」「東北の大地と海」などをテーマにしたスペシャル映像の上映とパネル展示
 - ・バーチャルジオツアー…スクリーンに映像や写真を投影し、バーチャルジオツアーを実施



関東

タイトル：関東ジオパーク縁日

- 内 容：
- ・ジオパークすごろく、神経衰弱「関東のジオめく（ぐ）り」、輪投げ「ジオパークの『輪』」、ぬりえ「関東の"フチ"を彩れ！ジオぬりえ！」
 - ・各ジオパーク紹介ファイル・原石展示・各ジオパークのジオフード
 - ・ジオパーク紹介・解説パネル、関東ブロックジオパークの魅力発信ムービー、パンフレットコーナー



甲信越中部

タイトル：ジオカフェ ～中部の詰め合せ～

- 内 容：・「縄文人の手ほどき～縄文着・縄文手ぬぐい・ヒスイ探し体験～」
- ・石でお絵かき チュウブ・ロックアート
 - ・冷たい水、温かい水。ただの水とあなどるなかれ
 - ・恐竜とアンモナイト 勝者たちの化石たち
 - ・赤裸々石仏カフェ～わがやの石仏じまん



中四国近畿

タイトル：飲んで楽しむジオパーク

- 内 容：・各ジオパーク自慢のドリンクの提供・ドリンクの説明
- ・各地域を紹介するポスター
 - ・中四国近畿エリアの地質的特徴を示す地図とプレート沈み込み断面図（ポスター）



九州

タイトル：九州の火山が紡ぐ大地と人の物語

- 内 容：・岩石くんをつくらう♪、缶バッジづくり（島原半島）
- ・九州で採れる水の伝導度の違い（阿蘇）
 - ・ココアで作ろう！カルデラ実験（霧島）
 - ・アサギマダラの模型づくり（おおいた姫島）
 - ・プラスチック弁当蓋で作る桜島模型（桜島・錦江湾）
 - ・現地の酒蔵（三島村・鬼界カルデラ）&がまだすドーム（島原半島）をスカイプ等で中継
 - ・椿を使った体験講座、砂の観察（五島列島）
 - ・九州の各ジオパークを象徴する岩石の展示
 - ・常設で遊べるワークショップ
 - ・「阿蘇の火砕流が紡ぐ大地と人の物語」、「ジオパークが誇る美しき火山や火山地形」をテーマにした写真展示
 - ・ジオフードやジオスイーツ等が当たる抽選会を11月4日に実施



飲食・物産ブース（豊後大野市役所前駐車場 特設会場）

ジオパークフレンドショップ等が地元の食材を使った食事や特産品を販売し、好評を得た。

飲食ブース

Cafe月の舎
道の駅きよかわ
道の駅あさじ
(株)成美
ひなたぼっこ 元気もんシェフ
蛸の杜

物産ブース

道の駅みえ
牟礼鶴酒造合資会社
仲町製菓
手づくりの店ホープ
千歳ハイツ・エイブル



閉会セレモニー（エトピアおおの 大ホール）



大会宣言：実行委員長 川野 文敏



次回開催地あいさつ：鳥根半島・宍道湖中海ジオパークと
中四国近畿ブロックの皆様



閉会のことは：姫島村立姫島小学校と豊後大野市立白枝小学校の児童



司会：長野 いずみ／手話通訳：大分県聴覚障害者協会

企画・運営

福島 大輔 (NPO法人桜島ミュージアム理事長、桜島・錦江湾ジオパーク)
おおいた姫島ジオパーク推進協議会、おおいた姫島ジオガイド

概要

「コミュニケーション技術の向上」をテーマとしたワークショップを行い、ガイドとしてお客様とどのようにしてコミュニケーションを図るかを考えた。また、連動して行ったジオツアーでは、実際に姫島村民との交流を行いながらジオサイトをめぐり、コミュニケーションを実践した。

内容

1日目：ワークショップ、交流会
2日目：ジオクルーズ、マルチコミュニケーションによるジオツアー

まとめ

1日目のワークショップおよび交流会では、ファシリテーターの福島氏の指導の下、話すことよりも聞くことを意識して会話すること、言葉以外の表情や声調などでのコミュニケーションの重要性を学び、参加者同士で交流をしながら実践した。2日目には、1日目のワークショップで学んだことを活かし、参加者同士の会話を重視したマルチコミュニケーションによるツアーを実践した。

地域住民が参加したことで、地域外からの参加者の満足度が上がるとともに、地域住民にとっても新たな発見やつながりが生まれた。



企画・運営

日本ジオパークネットワーク

ファシリテーター：中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
元徳島県川島町長（現在の吉野川市））

概要

これからの10年を牽引していく立場として、全国のジオパークに関係する市町村長を中心とした各地域のトップの方々が集まり「あなたのまちにジオパークは必要か、それはなぜか」、「ジオパークで何を変えていきたいか、そのために何をするのか」、「トップのリーダーシップが地域にどう影響を与えるか」など率直な意見交換を行い、これまでの10年を踏まえジオパーク活動が真に地域課題の解決につながるものか否か、徹底的に議論を深めた。

内容

- ・趣旨説明
- ・アイスブレイク
- ・グループワーク（なぜジオパークに加盟しているのか/リーダーシップについて）
- ・ソロワーク（ジオパーク活動の質的向上を図るには何が必要で、どのような展開をしていけば良いと思うか）
- ・まとめの共有

まとめ

前日にアイスブレイクとして参加者を中心に懇親会を実施したこともあり、円滑な議論を行うことができた。このセッションでは、目標を明確化することで思考や行動に変化が起ることをコミュニケーションを通じて体験し、その後のグループワークではJGN活動状況調査(2018)のデータをもとに、ジオパークに何を期待しているのか、効果は上がっているのか、またうまくいっていない場合には何が不足しているのかについて白熱した議論を交わした。具体的な事例が発表されるなかファシリテーターの体験談を交えながら、事業への取組みは一部の人たちだけで行うものではなく、様々なステークホルダーが関わることで成熟し発展すると考えるので、人材育成ひいては次世代をどのように育てるかについてもリーダーに求められる部分であった。

また、首長が果たすリーダーシップには目標を明確化し、その目標を皆で共有して地域を牽引していくことが求められるとし、ジオパークを地域住民や職員らと話し合うきっかけ作りのツールとして活用することで地域課題の解決に役立て、これからの10年もジオパークを通じて地域をより元気にしていくビジョンを共有した。



企画・運営

松原 典孝（山陰海岸ジオパーク・兵庫県立大学）・西島 昭治（霧島ジオパーク・霧島ジオパーク
ユニバーサルデザインフォーラム）・丸橋 暁（ジオユニ）・UDワーキンググループ
協力：成瀬 吉要（社会福祉法人 紫雲会 サポートセンターサライ）
田島 良平（社会福祉法人 萌葱の郷 相談支援事業所プラス）

概要

ジオパークには多様な要素があり、それを多様な体験や学び、食などを通じて楽しむことで、地球そのものや地球と人のつながりを理解することができる。本分科会では、「五感で楽しむジオパーク～ジオパークにおけるUDについて考える～」をテーマに、多様な人が様々な感覚、つまり「五感」を使いどのように地球と共生してきたかを考えるとともに、ジオパークが有する地域資源やストーリーをどのようにして多様な人に「楽しみ、理解」してもらえるかを議論した。

内容

(1) フィールドでの実践～豊後大野ジオパークでのUD体験～

豊後大野ジオパークで実施されたプレジオツアーに参加し、すべての人がジオツアーを楽しめるようにするにはどうしたらよいか、を議論した。原尻の滝では、車椅子体験やアイマスク体験等を行い、「滝」を安心安全に、かつ五感を通じて様々な形で楽しめることを確認するとともに、より良いジオツアーについて議論した（下部写真左）。

(2) 座学・ワークショップ「五感で楽しむジオパーク～ジオパークにおけるUDについて考える～」

UD分科会のメンバーより、なぜジオパークにおいてUDの概念が必要なのかや、海外でのUD活動の例などを説明した後、山陰海岸ジオパークや豊後大野ジオパークで実際にUDジオツアーや福祉に携わるゲストスピーカーに活動報告をしていただき、その経験を共有した。ワークショップではフィールド実践と座学の内容を参考にしながら、「ジオパークを通じて地球そのものや地球と人のつながりを理解するためにUDの考え方がヒントにならないか」について、議論した。参加者からは、100パーセントは難しいが100パーセントでなくても満足してもらえること、一番良いのは何を求めているか聞くことであり、コミュニケーションが大切であるなどの意見が出された。

まとめ

地球と人の持続的共生を考えるうえで、地球に多様な人が生活していること、地球活動もまた多様であることを無視することはできない。本分科会では、多様な手法を用いることで地球の素晴らしさや地球活動そのものを理解してもらうことが大切であることを共有した。

（文責：松原 典孝）



企画・運営

竹之内 耕（糸魚川ジオパーク）・中村 有吾（室戸ジオパーク）・山岡 勇太（立山黒部ジオパーク）・
小河原 孝彦（糸魚川ジオパーク）・保全ワーキンググループ

概 要

「JGN自然資源保全に関する指針」をもとに、さまざまな保全活動が試みられている。本分科会では、後述のジオパークからの事例報告を受け議論を行った。

内 容

(1) 岩本 直哉氏（銚子）：『洋上風力発電施設の景観問題』

銚子では保全の問題に対して、ジオパークの保全グループが市民とともに取り組んでいる。現在、景観を阻害する可能性がある洋上風力発電所計画（最大31基、ローター直径220m、海面からの高さ252m）が持ち上がっている。歴史的科学的にも重要な景観であるが、国立公園や銚子市の景観条例でも範囲外である。自然エネルギーも大切だが、景観についても配慮すべきではないか。

(2) 野口 和典氏（南紀熊野）：『保全整備に係る事例紹介（南紀熊野）

～ジオパークから見た持続可能な地域開発～』

サイトリストやサイトカルテを作成して保全に努めている。円月島（名勝）の岩は脆いため、鉄筋を入れて補強している。橋杭岩（貫入岩）とその周辺には津波岩がある。これらの景観はもとも侵食や風化によってできたものなので、今後、景観が変わるかもしれないが、同様の地形が再びつくられる可能性が高いので自然任せにしている。

(3) 高橋 唯氏（室戸）：『室戸高校「ジオパーク学」を通しての生徒たちの活動と学び』

法律で保護さえされていればそれで良いのか、ということを授業の中で考えてみた。「ジオパーク学」（課題研究）において、シロウリガイ化石を含む露頭の保全に取り組んだ。市天然記念物指定をめざし、生徒自ら申請書を作成して指定に漕ぎ着けた。ジオパークをどう活かすかというマネジメント視点で考える生徒が生まれてきた。

(4) 小河原 孝彦氏（糸魚川）：『保全の取り組み－糸魚川ジオパークからの事例報告－』

博物館による、ヒスイを含む小石の鑑定サービスの条件を、保護の観点から、手のひらサイズ以下（約15cm以下）の大きさ、販売目的でないこと、鑑定個数を5個までとし、大きな石の鑑定を中止した。河川や海岸の小石は、過去の土石流によって運搬された膨大な量をもつので、手採集による枯渇の可能性は極めて低いと考えた。

まとめ

地域住民との議論によって進める、計画的で科学的な保全を進める、保全と教育を同時に進める、地質環境やジオストーリーにあった保全を進めるなどの視点が共有された。

（文責：竹之内 耕）



企画・運営

合同会社むすび 大岩根 尚、野崎 恭平

概要

本分科会は、2019年11月3、4日の2日間にわたり、合計5時間を使って、カードゲーム「2030 SDGs」の体験と、その後の振り返りワークショップを行った。

内容

このカードゲームは既に国内外で10数万人が参加し、国連本部でも国連職員や外交官向けに実施されたものである。壮大で抽象的なSDGsの全体像を体感的・直感的に理解するために作り込まれたコンテンツとなっている。今回は、振り返りワークショップの内容をジオパーク向けに作り替え、大会開催後にもそれぞれの地域でSDGsの取り組みが進む手助けとなることを意図して企画した。

分科会は、SDGsとは？のレクチャーから始まり、国連、各国、企業、自治体の動向を簡単にレビューした後に、実際にカードゲームを体験した。ゲームの内容は、各チームが自分の目的に向かって活動（お金カードと時間カードを使ってプロジェクトを実行）するというもので、各チームの活動によって世界の経済／環境／社会の各メーターが刻々と変化する仕組みになっている。各チームの活動の結果として生み出される2030年の世界の状況がどのようなものになるかをシミュレーションするゲームである。

ゲーム終了後、ゲーム中の自分の行動を振り返るグループワークを通じてSDGsについての理解を深めた。

グループワークは、

1. 自分の地域の現状についての評価、
 2. 2030年にSDGsを達成して理想の状態にある地域の状態はどういうものか、
 3. その状態を実現するための具体的なプロジェクトとして何が考え得るか、
 4. そのプロジェクトの実現にむけてできること、
- の4つについて対話を行った。

まとめ

2日間のゲーム、レクチャー、対話などの体験を通じて、SDGsに関する情報交換のためのメーリングリストが立ち上がった。

参加者からは「この世界にSDGsがある意味がわかった」「自分の日常と世界の繋がりが知れてよかった」「自分の暮らしを見直そうと思った」などの感想が出されていた。

SDGsメーリングリストは

jgn-sdgs2019@googlegroups.com

Google のアカウント登録が必要ですが、どなたでもご参加いただけます。

(文責：大岩根 尚)



口頭発表プログラム



11月3日(日・祝)

	エイトピアおおの大ホール	エイトピアおおの小ホール	エイトピアおおの第1・2会議室
	(招待講演)	司会：森本 拓、増野 雄基	司会：白井 孝明、平田 和彦
10:30-10:45		ジオパークを活用した幼児向け教育の効果について 丸田 洋樹	大分県中西部地域のジオパーク認定の可能性 熊本 智之
10:45-11:00		学校教育における『雲仙島原半島ジオパークかるた』を活用したジオパーク学習の実践方法 森本 拓	JGN加盟地域としての萩ジオパークの覚悟～社会に開かれたネットワークとなるために～ 白井 孝明
11:00-11:15		九州・沖縄地域のESD推進ネットワークとジオネットワークへの期待 澤 克彦	学校教育で活かすジオパークの取り組み 野村 律夫
11:15-11:30		地域高校はジオパークとどう関わるのか-室戸ユネスコ世界ジオパークの事例紹介- 小笠原 翼	環境に優しいジオツアーを目指して 伊井 誉思香
11:30-11:45		ジオ資源を活用した地域の色から始める教科融合型学習の開発 西口 宏泰・藤井 康子・麻生 良太	どうする！ガイドのインバウンド対応！ 福田 貴之
11:45-12:00		わたしのイチ押しGS（ジオサイト） 豊後大野市立清川中学校2年	島原半島と私達 永田 ゆき子
12:00-14:00		(昼休み)	
	司会：河野 みゆき	司会：鶴飼 宏明	司会：加藤 聡美
14:00-14:15	「おおいた姫島ジオパーク」の紹介と「マナビ旅」のまとめ 姫島村立姫島中学校1年	ジオガイドが語るハンタンガン ハンタンガン・ジオパーク	石材の産地を調べることで見えるジオパーク地域の歴史 先山 徹
14:15-14:30	姫島ジオサイトの魅力、私たちが伝えます！ 姫島村立姫島小学校 4年 5年 6年	ジオに育まれた芸術家 森 輝隆	人の暮らしとジオを考える：ジオ×考古学は地域の遺産を面白くできるのか？ 橋詰 潤
14:30-14:45	Google Mapを利用した「おおいた豊後大野ジオパーク」ウォーキングマップの作成（緒方町編） 豊後大野市立緒方小学校6年	地域の思いを実現するために地域おこし協力隊ができること in室戸ユネスコ世界ジオパーク 長田 圭司	236年間つづく災害伝承と語りつぎの意義～天明3年浅間山噴火～ 宮崎 光男
14:45-15:00	来訪者にやさしい観光地の整備とは？ 市原 樹・岩下 晃大・園田 夏子・橋本 千夏・村上 祐衣	欧米豪人へのアピールの意義とアピール方法について メイ スーザン	もし1783年（天明の大噴火）と同様な噴火が発生したら、きみならどうするか。ー浅間山北麓ジオパークdeクイズラリーー 中山 邦男
15:00-16:30	(ティーブレイク)		
	司会：河野 みゆき	司会：新名 阿津子	司会：橋詰 潤
16:30-16:45	長登銅山学習を通して考えたふるさと美東 美祢市立美東中学校 井上 つむぎ・重枝 和佳奈・徳重 日陽里	梅津川の魅力発見 佐渡市立加茂小学校 甲斐 就	三陸の民間伝承にみるジオー1 高橋 晃
16:45-17:00	看板を考える、看板で考える 長崎県立口加高等学校 グローバルコース看板班	佐渡トキめきジオ物語パート3 佐渡市立新穂小学校 土岐 優成	世界ジオパーク国内候補地申請を終えての反省と覚悟 末岡 竜夫
17:00-17:15	高校生が広げるジオパークネットワーク-室戸ユネスコ世界ジオパークと協働の防災/保全活動と国際連携を事例に- 橋本 くるみ・北村 鷹胡	真野の海岸物語 佐渡市立真野小学校 若林 葉月	かんらん岩と産業の関わり、及び国内外のかんらん岩体の基盤情報整理 加藤 聡美
17:15-17:30	三陸ジオパーク北部エリアの検討とジオの魅力を高め変動帯をわかりやすく伝える「ジオ紙しばい」の提案2 川端 真衣・木村 ひとみ	GGNの動向とJGNの現状/課題 柚洞 一央	UNESCO世界ジオパーク認定後のガイドツアーの変化 仲田 慶枝

11月4日(月・振替休日)

	エトピアおおの大ホール	エトピアおおの小ホール	エトピアおおの第1・2会議室
	司会：下村 圭、山崎 由貴子	司会：山岡 勇太、殿谷 梓	司会：石松 昭信、片野 忍
10:30-10:45	ふるさとを守る私たちの手で-特定外来生物オオキンケイギクを楽しく学べる方法の提案- 島根県立隠岐高等学校	研修は作れる！～阿蘇のガイドの自主研修～ 山崎 真流子	ぶんご大野の化石が語ること～古生代シルル紀から阿蘇火砕流まで～ 佐藤 裕一郎
10:45-11:00	ヒートアイランド抑制のための研究 大分県立大分舞鶴高等学校	健康志向 ウォーキングを使ったジオパークPR 関谷 友彦	豊後大野における「豊旅」と「ジオガイド」が担う役割 芝崎 聡通
11:00-11:15	隠岐高校におけるジオパークを活用した「総合的な探究の時間」及び学校設定科目「隠岐ジオパーク探究」の展開 島根県立隠岐高等学校（教職員）	スポーツでジオパークを楽しむ～立山黒部ジオパークの事例～ 山岡 勇太・今堀 喜一・城 正幸・吉崎 文彦・廣橋 和親	津波災害遺構の保存・解体プロセスと保存できた内的・外的要因ー東日本大震災後の三陸ジオパークを事例としてー 石川 宏之
11:15-11:30	ICTを活用した双方向性体験学習プログラムの実施について 下村 圭・重松 百之香	公民館を活用したジオパークの魅力を楽しむツアー 川端 志穂・杉本 勉・山岡 勇太・王生 透・八尾 隆夫	中岳ジオサイト（阿蘇中岳火口）の新たな価値の創造への挑戦 石松 昭信・秦 美保子・池辺 伸一郎・鍵山 恒臣
11:30-11:45	教育現場におけるジオガイドの役割～伊豆半島ジオパークの事例～ 早川 憧	山陰海岸ジオパークでの遊びをここでしかできない体験に～GEO×アクティビティプロジェクト～ 岩本 有樹・郡山 鈴夏・金山 恭子・太田 悠造・山下 明男	SDGsをテーマとしたステップアップ会議 村尾 久司
11:45-12:00	「ふるさとアポイ学」のいままでとこれから 田村 裕之	山陰海岸ジオパーク西部（鳥取県）におけるエリア外専門家を招聘した海洋生物相調査と普及活動 太田 悠造・幸塚 久典・山名 裕介・中野 理枝・戸川 優弥子・長谷川 尚宏・西川 輝昭	Mine秋吉台ジオパークのメッセージとSDGs 榎崎 知行

ポスター発表



パネル No	タイトル	発表者
1	大分県のジオ多様性とジオパーク	利光 誠一・堀内 悠・神志那 庸一・吉岡 敏和
2	おおいた豊後大野ジオパーク ジオサイトの植物たち	岩里 実季
3	ジオお宝マップ	豊後大野市立百枝小学校
4	大野の魅力を人々に～沈墮の滝～	豊後大野市立大野小学校 6年
5	豊後大野はジオの魅力であふれてる	豊後大野市立朝地小学校
6	新田小ジオパーク学習2019	豊後大野市立新田小学校 6年
7	61人のジオパークキャッチフレーズ 普光寺磨崖仏	豊後大野市立三重東小学校 6年
8	私たちの「ふるさと」	豊後大野市立犬飼中学校
9	自分たちのおすすめコースを作ろう	豊後大野市立千歳中学校 1年
10	「おおいた姫島ジオパーク」の紹介と「マナビ旅」のまとめ（はがき新聞）	姫島村立姫島中学校 1年
11	阿蘇溶結凝灰岩の圧縮強度について	大分県立三重総合高等学校 自然科学部
12	ジオサイト保全の取り組み ～ジオサイト「大海のコンボリュートラミナ」を例として	おおいた姫島ジオパーク推進協議会事務局・姫島村
13	阿蘇ジオパークにおける防災情報の発信と啓発	鍵山 恒臣・渡邊 一徳・池辺 伸一郎・石松 昭信・豊村 克則・兒玉 夏子・高森 秀平・宮北 志野
14	学校教育における阿蘇ジオパーク学の役割	高森 秀平・渡邊 一徳・池辺 伸一郎・鍵山 恒臣・兒玉 夏子・宮北 志野・石松 昭信
15	やっぱVRでShow!	京都大学火山研究センター (吉川 慎・宇津木 充・大倉 敬宏)
16	夏目漱石と阿蘇ジオパーク	阿蘇ジオパークジオガイド協会
17	サルクの夜明け	桜島ジオサルク
18	島原半島ジオパーク・小浜温泉における地熱利用をテーマとした教育プログラムの開発と実践	馬越 孝道・渡辺 貴史・竹下 貴之・佐々木 裕
19	細田先生に聞いた！「五島の“食”がうまい理由」	細田 一郎
20	身近な地形への関心を引き出す～四国西予ジオパークにおける減災の取り組み～	榊山 匠・高橋 司・土居 文人
21	土佐清水ジオパーク構想における学術研究の推進とそれを通じた地域の価値の明確化を目指す取り組み	土佐清水ジオパーク推進協議会
22	国立公園奄美ビジターセンターを拠点としたジオパーク活動の推進	土佐清水ジオパーク推進協議会・土佐清水ジオの会
23	三好ジオパーク構想のこれまでの取り組みとこれから	殿谷 梓・中尾 佳那・城野 義明
24	1年3か月間のジオガイドの取り組み	みよしジオガイドの会 (石井 和美・山西 敏広・豊島 由美子・平岡 広美)
25	2回の「世界審査」で明らかになった室戸ユネスコ世界ジオパークの変容	中村 有吾
26	世界ジオパーク国内候補地申請再挑戦に向けた動向	倉増 裕
27	日本文学とジオパーク	グレイ トリスタン
28	萩ジオアカデミーの成果～住民向け地学講座による地球科学の普及と研究の促進～	萩ジオパーク推進協議会
29	メイキング・オブ・萩ジオパーク～ジオパークによる新たな地域文化の形成～	萩ジオパーク推進協議会
30	学校を巻き込んだジオパーク活動の一例	伊藤 靖子
31	こどもたちへ ～ジオパークで学ぶ・楽しむ・つながる～	藤田 尚子・石飛 一枝
32	自主制作番組「萩さんぽ～下を向いて歩こう～」について	宮崎 星奈・舟戸 拓也・白井 孝明
33	島根大学ジオパークプロジェクトセンターの活動について	辻本 彰・入月 俊明・会下 和宏・大平 寛人・瀬戸 浩二・松本 一郎・ジオパークプロジェクトセンター教員一同
34	山陰海岸ジオパーク コウノトリと共に生きる ～豊岡の挑戦～	成田 浩一・徳田 浩子
35	海岸部の環境保全への取り組み	長谷川 浩司・中江 吉光
36	地域の人々と連携した、インスタグラムによる山陰海岸ジオパークのPR	浅田 英亮・岩本 有樹
37	鳥取砂丘自然体験プログラム ちびっ子砂丘探検隊2019	山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター管理運営協議会

パネル No	タイトル	発表者
38	ジオパーク観光案内ウェブページ記載についての大学生の理解状況：山陰海岸ジオパーク世界ユネスコジオパークを例として	川村 教一
39	山陰海岸ジオパークの滝と地質	岡田 俊弘
40	「丹後震災～高校生とたどる93年前の痕跡と記憶」	京都府立峰山高等学校地学研究部
41	ジオパークにおける大学の役割～山陰海岸ジオパークでの兵庫県立大学の活動～	松原 典孝
42	海と山をつなぐ川のジオパークの可能性－岡山県東部・吉井川流域－	先山 徹・NPO法人地球年代学ネットワーク
43	南紀熊野ジオパークセンターの教育研究活動	南紀熊野ジオパーク推進協議会
44	化石や地質資源と妖怪伝承の関連	荻野 慎諧
45	防災士会と連携開催した連続学習講座とその意義について	白山手取川ジオパーク
46	石のまち糸魚川－石を中心としたシティプロモーション－	小河原 孝彦・茨木 洋介・竹之内 耕・猪又 卓也・小林 猛生
47	ジオパークの周知を目的としたツアー「ジオパーク散歩」の実施について	志村 幸光・大野 博美・清水 和明・今堀 喜一・山岡 勇太・打越山 詩子
48	「ジオパーク」まず知ってもらうために・東三河地域の取り組み～企画展「ジオパークを知ろう！」と連携ワークショップを通じて～	加藤 千茶子・東三河ジオパーク構想推進準備会
49	山岳観光とジオパーク	小澤 恵理・北原 孝浩・唐澤 愛里
50	西伊豆の隠れた名滝八選	静岡県立松崎高等学校サイエンス部
51	伊豆大島ジオパーク・ジオガイドのさらなる充実をめざして	白井 里佳・寺本 雄一郎・橋本 樹里
52	屏風ヶ浦の景観を守れ！銚子ジオパークの保全活動	岩本 直哉
53	筑波山地域ジオパークにおけるジオストーリーの構築～ハス田と癒しの里のジオ	高田 正澄
54	ジオパークとユニバーサルデザイン	伊藤 祐二
55	ユニバーサルデザイン	佐藤 信之・越智 勇氣
56	地域住民にジオパークを知ってもらうための取り組み－ジオカフェー	山田 雅仁
57	ここまで変わった下仁田ジオツアー	関谷 友彦
58	ゆざわジオパークの保全に関する研究：観光に悪影響を与える衛生害虫や特定外来生物の分布ないし発生消長と、それらに基づく予防防除策の検討について	高柳 春希
59	小学生のジオサイト探検と成果品－八峰白神ジオパークの例－	三輪 拓磨
60	三陸ジオパーク北部エリアの検討とジオの魅力を高め変動帯をわかりやすく伝える「ジオ紙しばい」の提案	安原 景星・加藤 花奈・川崎 遥人・権代 瑞歩・大久保 亜利沙・川端 真衣・吉田 聖矢・木村 ひとみ
61	下北ジオパークにおけるサイト再整理とその成果	石川 智・小池 拓矢
62	洞爺湖有珠山ジオパークを活用した地域づくりの実践-北海道洞爺湖町の取り組み-	中谷 麻美
63	洞爺湖有珠山ジオパーク 10年の活動	武川 正人
64	新たな技術を活用した教育プログラムの実施について	下村 圭・重松 百之香・関 洋祐・對馬 綾子
65	「食」を通じたジオパーク活動の展開	下村 圭・上口 壮太・杉本 大介・重松 百之香
66	北海道旭川市神居古潭峡谷の奇岩「魔神の頭」の普及・保全活動について	岩出 昌
67	アポイ×イチゴ＝様似町の未来	様似中学校3年 小西 咲希・岸 唯央・崎広 健将・寺井 漣
68	学校教育におけるスカイプを活用した授業実践	佐野 恭平・熊谷 誠・増野 雄基
69	親子でジオパークを楽しみたい！ ジオパーク活動に、子育て世代にも目を向けてもらうには？	阿部 江利
70	日本ジオパークの現地審査報告書における「生態資源」に対する評価	平田 和彦・中村 真介・加藤 雄也・岡田 美耶・森口 夏希
71	簡易土壌厚測定による住民の防災意識向上～早期避難実現のために～	日和 一正
72	ジオパーク当事者以外の行政マンに向けた連載からみえてくること	中川 和之
73	大分ユネスコユースのジオパーク学習活動	大分ユネスコユース



姫島

姫島プレジオツアー ぐるっと姫島ジオツアー

参加者

50人

1日目

大分駅 → 別府駅 → 大分空港 → 伊美港 → 姫島港 → 旅館・民宿 → 離島センターやはず

2日目

ジオクルーズ → 鷹の巣、大海のコンボリ्यूートラミナ、拍子水・比売語曾社、西村記念公園、観音崎 → 白寿苑（郷土料理昼食） → 姫島港 → 伊美港 → 大分空港 → 別府駅 → 大分駅

スタッフ

講師：福島 大輔 アドバイザー：竹村 恵二

ガイド：吉田 龍夫、中元 一郎、波戸崎 京子、松原 しおり、安西 千代里、江原 不可止、藤本 只勝、伊井 誉思香

内容

ガイド分科会「コミュニケーション技術の向上」との連動型ツアーとして、地域住民を交えた参加者同士のコミュニケーションを重視して行った。村営フェリー「姫島丸」によるジオクルーズで姫島を一周し、島の地質や地形の成り立ちを概観したのち、各ジオサイトをバスで巡った。参加者同士が交流することで、気付いたことや意見を交換でき、より理解が深まり満足度が上がる効果がみられた。また、村民にとっては、地域について新たな視点で考えるきっかけとなった。



豊後大野

豊後大野プレジオツアー まるごと豊後大野 ～七所いっきめぐり～

参加者

26人

1日目

大分駅 → 道の駅あさじ → 普光寺磨崖仏 → 道の駅原尻の滝 → 原尻の滝 → 辻河原の石風呂 → 浜嶋酒造・吉良酒造 → 道の駅きよかわ → 沈墮の滝 → 岩戸の景観 → 宿泊：ホテルますの井 懇親会：TANTO（豊後大野市三重町）

2日目

虹潤橋 → 菅尾磨崖仏 → 道の駅みえ・江内戸の景

スタッフ

ガイド：日向 千草、佐伯 慎一 スタッフ：河野 亮

内容

滝や石橋、磨崖仏と、おおいた豊後大野ジオパークの代表的なジオサイトを丸ごと楽しむツアー。建設当時、日本一大きなアーチ式石橋であった虹潤橋、阿蘇溶結凝灰岩に彫られた美しい菅尾磨崖仏、平野に突如現れる原尻の滝など、全部で七カ所のジオサイトを巡った。ツアー中には、UD分科会の現地リサーチも行われた。浜嶋、吉良の両酒蔵と道の駅きよかわ、みえで特産品の試飲や試食もあり、目も耳もお腹も満たすツアーとなった。



豊後大野

豊後大野プレジオツアー

ジオガイドと鑑賞する豊後大野の磨崖仏 ~水を守る仏たち~

参加者

21人

1日目

大分駅 → 犬飼港跡・波乗り地蔵 → 道の駅みえ・江内戸の景 → 菅尾磨崖仏 → 大迫磨崖仏 →
宿泊：HOTEL AZ 懇親会：寿し虎（豊後大野市三重町）

2日目

普光寺磨崖仏 → 農村加工所そら → 道の駅あさじ

スタッフ

ガイド：高野 京子、古谷 美和 スタッフ：田吹 重都予

内容

豊後大野地域で多く見ることができ磨崖仏は、県下最大級の不動明王普光寺磨崖仏や美しい彫刻が際立つ菅尾磨崖仏、独特な風貌の大迫磨崖仏、固い岩壁に彫られた波乗り地蔵など多彩である。しかし、彼らはモノを言わず鎮座しているまま。ガイドの二人が磨崖仏の姿とその在り方について説明し、その仏たちが守り続けている水に注目して磨崖仏の立地や地形地質の関係等の話をした。まじめと思いきや、終始大笑いしながらのツアーだった。



豊後大野

豊後大野プレジオツアー

谷を潤る虹！豊後大野石橋ものがたり ~いのちき、石橋、恋語り~

参加者

19人

1日目

大分駅 → 原尻の滝 → 原尻橋 → 奥嶽橋・滞迫峡 → 出会橋・轟橋 → 轟木橋 →
宿泊・懇親会：三国家旅館（豊後大野市三重町）

2日目

虹潤橋 → 道の駅みえ・江内戸の景

スタッフ

ガイド：衛藤 ツネ子、田吹 文子、 スタッフ：後藤 竹義

内容

まだ若い浸食地形が残る豊後大野ジオパークには、深い谷を渡るためのアーチ式石橋が多数存在する。江戸から大正、昭和初期に造られたものまで今も多くの石橋が現役である。そんな何気ない石橋の数々が、なぜここに？誰が？何の目的で？といった石橋にまつわるエピソードを「石橋ものがたり」として、ガイドの二人が語った。地形や地質はもちろんのこと、石橋文化の発展に深く関わった人々の想いや建設にあたってのアレコレを人情味あふれた語り口で伝えた。



1日目

道の駅阿蘇 → 草千里ジオサイト → 阿蘇火山博物館ミュージアムツアー → 火山の神カルチュラルサイト
(阿蘇神社と門前町)

2日目

雲海ツアー (大観峰カルデラジオサイト)

スタッフ

ガイド：佐藤 誠子、吉岡 洋二、高藤 多美江、宮川 友博、和田 眞幸

内容

阿蘇カルデラ、活火山中岳、人々の信仰と文化、阿蘇ジオパークの3大テーマに全て触れる凝縮コースであった。中岳は噴火活動による立入規制中のため、火口見学をすることはできなかったが、火口から上がる噴煙を望み、活火山を体感。天候に恵まれ景観も良く、参加者には喜んでいただけた。一方で、実質半日のコースであったため時間に余裕がなく、急いでいると感じさせてしまったこと、質問を十分に受け付ける時間が取れなかったことなど改善すべき点があった。





姫島

姫島ポストジオツアー ぐるっと姫島ジオツアー

参加者
42人

1日目

エイトピアおおの → 伊美港 → 姫島港 → 旅館・民宿

2日目

ジオクルーズ → 鷹の巣、大海のコンポリュートラミナ、拍子水・比売語曾社、西村記念公園、観音崎 → 白寿苑（郷土料理昼食） → 姫島港 → 伊美港 → 大分空港 → 別府駅 → 大分駅

スタッフ

ガイド：吉田 龍夫、中元 一郎、波戸崎 京子、安西 千代里、藤本 只勝、伊井 誉思香

内容

姫島を船で一周して大地の成り立ちを海から学ぶジオクルーズと、陸上のジオサイトを巡るバスツアーをセットにした、コンパクトな島だからこそ体験できる魅力満載のツアー。夕食ではジオの恵み「姫島車えび」のしゃぶしゃぶや踊り喰い、新鮮な魚介類を味わい、翌日の昼食では郷土料理を楽しんだ。



豊後大野

豊後大野ポストジオツアー まるごと豊後大野 ～五所いっきめぐり～

参加者
36人

1日目

エイトピアおおの → 道の駅みえ・江内戸の景 → 菅尾磨崖仏 → 虹潤橋 → 宿泊：ホテルますの井 懇親会：TANTO（豊後大野市三重町）

2日目

沈墮の滝 → 牟礼鶴酒造 → 普光寺磨崖仏 → 原尻の滝 → 道の駅原尻の滝 → 豊後大野市役所 → 大分駅

スタッフ

ガイド：日向 千草、佐伯 慎一 スタッフ：岩里 実季

内容

豊後大野を代表する景観である江内戸の景や、美しい彫刻が見られる菅尾磨崖仏などをまるごと楽しむツアー。ジオサイトの魅力に加え、牟礼鶴酒造と道の駅原尻の滝で特産品の紹介をし、目も耳もお腹も満たすツアーとなった。多くの参加者を案内する大変さはあったが、参加者の協力や声かけなどの支えもあり、無事にツアーを終えることができた。



1日目

エトピアおおの → 犬飼港跡・波乗り地蔵 → 宿泊：HOTEL AZ 懇親会：寿し虎（豊後大野市三重町）

2日目

菅尾磨崖仏 → 大迫磨崖仏 → 道の駅あさじ → 普光寺磨崖仏・阿字観体験 → 牟礼鶴酒造 → 沈墮の滝 → 豊後大野市役所 → 大分駅

スタッフ

ガイド：高野 京子、田吹 文子 スタッフ：日浅 紗矢香

内容

ポストジオツアーは体験を重視したプログラムだった。このツアーでは、豊後大野地域特有の多様な磨崖仏を鑑賞するのももちろんのこと、磨崖仏とともに阿字観=瞑想体験（あじかん=めいそうたいけん）を行った。

阿字観は、普光寺住職の全面的な協力を得て行われ、磨崖仏の横にある懸造り（かけづくり）舞台上、巨大な岩陰を背にして結跏趺坐（けっかふざ）し、日々の喧騒から離れしばし心の洗濯を行った。街歩きでは様々な場所で歓迎を受け、飲食の機会が多くあったことで、心も体も満たされたツアーとなった。



1日目

エトピアおおの → 原尻の滝 → 辻河原の石風呂 → 宿泊・懇親会：大丸旅館（竹田市直入）

2日目

普光寺磨崖仏 → 岡城跡 → 浜嶋酒造・吉良酒造 → ベジカフェミズ → 道の駅きよかわ → 豊後大野市役所 → 大分駅

スタッフ

ガイド：田吹 重都予、後藤 竹義 スタッフ：衛藤 ツネ子

内容

9万年前の阿蘇火山の破局噴火によってもたらされた溶結凝灰岩は川に浸食されナイスな崖として豊後大野市内の至る所で見ることができる。先人たちはこの崖を上手く活用してきたが、このツアーでは、そんな先人たちが残した溶結凝灰岩の崖を掘って作られた「石風呂」での入浴を企画し、地元の有志の協力により貴重な体験ができた。また夜は竹田市長湯温泉の大丸旅館で過ごし、翌日は竹田市の難攻不落の名城「岡城」を散策した。溶結凝灰岩の崖、石垣を大いに楽しんだ。



豊後大野

豊後大野ポストジオツアー

地層！ご馳走！丸ごといただきっ！～リバービュー♪のロッジに泊まるう～

参加者

6人

1日目

エトピアおおの → 原木しいたけ収穫体験 → 岩戸の景観 → 浜嶋酒造・吉良酒造 → 竹田温泉「月のしずく」 → 宿泊・懇親会：ロッジきよかわ（豊後大野市清川町）

2日目

出会橋・轟橋 → 奥嶽橋・滞泊峡 → 原尻の滝 → 里芋掘り → だんご汁作り → 道の駅きよかわ → 豊後大野市役所 → 大分駅

スタッフ

ガイド：宮崎 勝一、河野 みゆき スタッフ：豊田 徹士

内容

豊後大野ジオパークの地層とご馳走をまるごといただく企画。豊後大野の名産品シイタケの収穫体験や里芋掘り体験、郷土料理「だんご汁」作り、と体験重視のツアーだった。参加者は、生産者と触れ合いながら体験し、収穫したものはお土産としてお持ち帰りいただいた。夕食では、新しいブランドの「おおいた和牛」A5ランクの肉をメインとしたバーベキューを豊後大野市の地酒とともに楽しみ、リバービューの「ロッジきよかわ」で静かな夜を過ごした。



豊後大野

豊後大野ポストジオツアー

湯～湧くのおおいた ～地熱・温泉・滝ものがたり～

参加者

14人

1日目

エトピアおおの → 沈墮の滝 → 牟礼鶴酒造 → 道の駅あさじ → 宿泊・懇親会：久住高原コテージ

2日目

久住高原展望台 → 八丁原地熱発電所 → 道の駅原尻の滝 → 原尻の滝 → 豊後大野市役所 → 大分駅

スタッフ

ガイド：渡部 順子、九州電力大分支店 スタッフ：恵良 智洋

内容

九州電力大分支店の全面協力のもと、八丁原地熱発電所と沈墮の滝＝沈墮水力発電所取水堰をメイン見学地として、地球と人がどのように営みを続けていたかを知ることができるツアーとなった。豊後大野市の地酒や焼酎がツアーに花を添え、参加者を楽しませた。また、宿泊地は久住連山の麓にあり、満天の星空のもと懇親会も大いに盛り上がった。八丁原地熱発電所と沈墮の滝では九州電力大分支店の担当者から案内と説明をいただいた。



1日目

エトピアおおの → 道の駅阿蘇 → 内牧温泉

2日目

雲海ツアー（大観峰カルデラジオサイト）→ 阿蘇火山博物館 → 中岳ジオサイトor草千里ジオサイト → 南阿蘇鉄道乗車体験 → 立野峡谷ジオサイト → 阿蘇くまもと空港 → 熊本駅

スタッフ

ガイド：矢野 均、広瀬 顕美、中村 香織、竹田 清和、宮川 友博、山口 裕子、和田 眞幸

内容

活火山や、今しか見ることができない熊本地震からの復興過程を見学。また、被災体験談などから、大地の成り立ちと暮らしの関わり、自然と向き合う人々の姿を感じとっていただくことができた。運転手がガイドをしながら走らせる南阿蘇鉄道への乗車や、活断層によりずれた岩盤の特別見学などが印象に残ったという方が多かった。フリータイムや買い物の時間をもう少し増やしても良かった、情報量が多い箇所もあった、との改善案もいただいた。



1日目

エトピアおおの → 道の駅阿蘇 → 内牧温泉

2日目

雲海ツアー（大観峰カルデラジオサイト）→ 大観峰カルデラジオサイト → 押戸石ジオサイト → 北外輪火砕流ジオサイト（鍋ヶ滝）→ 阿蘇くまもと空港 → 熊本駅

スタッフ

ガイド：高嶋 信雄、西田 直美、佐久間 研治、北里 晃子、和田 眞幸

内容

火砕流と人々が維持してきた草原で作られ出した景観を満喫することを目的としたコース。オプションの早朝ツアーでは、期待していた雲海は見られなかったが、日の出や幻想的な景観を見ることができた。一方、このコースへの参加者は、本行程でも同じ場所を訪れることになってしまった。余裕を持った行程で、各サイトや買い物の時間も楽しんでいただけた。ガイドが交代制であったことで、良い評価も多くいただいたが、全体的なテーマとポイントがもう少しまとめられると良かったとの意見もいただいた。



会場周辺



姫島港



姫島村営フェリー 姫島丸



大分会場 体験ブース



大分会場 受付



豊後大野会場 市役所前駐車場(ブース会場)



みえまちホコ天2019 “みえの市”



三重神楽社による三重町駅前飲食店練り歩き



ひなたぼっこの皆様による歓迎ボード



しげまさ子ども食堂



豊後大野市の皆様による
カウントダウン写真

第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた 大会宣言

ここ、おおいたの地へ集う人々に、3つの「Wa!」、驚きや感動の「ワッ!」、自然と人との調和の「和」、人と人とのつながりの「輪」を体験してもらうため、九州すべてのジオパーク地域の協力のもと大会へ臨んだ。

各講演・発表や分科会、ジオツアー、そして、新たな試みである、全国ジオパークブロック別パビリオンや地域の人々を巻き込んだ取り組みにより、Wa!～「わ」を伝えることができたと確信している。

ジオパーク活動に取り組む我々は、これまで積極的にその魅力、楽しさを伝えてきた。人々が、大地のすばらしさに気づくことで、活動の広がりや循環が確かなものとなる。

我々は、この第10回大会を起点とし、単に「伝える」ではなく、「伝わる」ことも意識した活動へと広げていくことを考えるべきである。多様なコミュニケーションのもと、ネットワークをつなげることが、次への礎となる。

おおいた大会で体験、実感した3つのWa!～「わ」に、「伝わる」の「わ」を加え、ネットワークをさらに広げて、ジオパーク活動が地域活性化の大きな力となることを目指し、ジオパークの持続可能な発展に挑戦していくことを、ここに宣言する。

2019年11月4日

第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会

実行委員会委員長 姫島村長 藤本 昭夫

実行委員会委員長 豊後大野市長 川野 文敏

実行委員会名簿等



実行委員会

役 職	職 名	氏 名
名誉委員長	大分県知事	広瀬 勝貞
委員長	おおいた姫島ジオパーク推進協議会 会長	藤本 昭夫
〃	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 会長	川野 文敏
委 員	阿蘇ジオパーク推進協議会 会長	佐藤 義興
〃	一般社団法人 九州観光推進機構 会長	石原 進
〃	環境省九州地方環境事務所 所長	岡本 光之
〃	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長	御手洗 康 (前)佐藤 禎一
〃	公益社団法人 ツーリズムおおいた 会長	幸重 綱二
〃	大分県商工会議所連合会 会長	吉村 恭彰
〃	大分県商工会連合会 会長	森竹 治一
〃	国立大学法人 大分大学 学長	北野 正剛
〃	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部長	LI Yan(李 燕)
〃	おおいたジオパーク推進アドバイザー	竹村 恵二
〃	大分県教育委員会 教育長	工藤 利明
〃	大分県生活環境部長	宮迫 敏郎 (前)山本 章子
監 事	株式会社 大分銀行 地域創造部長	亀井 祐二
〃	大分県会計管理者	山本 修司 (前)岡田 雄

役 職	職 名	氏 名
顧 問	日本ジオパーク委員会 委員長 (防災科学研究所 火山研究推進センター長)	中田 節也
〃	日本ジオパークネットワーク 理事長 (糸魚川ジオパーク協議会 会長)	米田 徹

役 職	職 名	氏 名
アドバイザー	島原半島ジオパーク協議会 会長	古川隆三郎
〃	霧島ジオパーク推進連絡協議会 会長	中重 真一
〃	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 会長	森 博幸
〃	天草ジオパーク推進協議会 会長	中村 五木
〃	三島村ジオパーク推進連絡協議会 会長	大山 辰夫

事務局

役 職	職 名	氏 名
事務局長	大分県生活環境部参事監兼自然保護推進室長	橋本 昌樹
事務局次長	おおいた姫島ジオパーク推進協議会 事務局次長	須賀 宣光
〃	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 事務局次長	安藤久美子 (前)新宮 幸治
〃	大分県生活環境部自然保護推進室 参事	河野 淳一
事務局員	大分県生活環境部自然保護推進室 室長補佐 (総括)	松木 京子
〃	〃 温泉・地域資源活用班 副主幹	毛利 篤史
〃	〃 〃 副主幹	三浦 陽
〃	〃 〃 主査	藤原 国治
〃	〃 〃 主事	阿部 博文

総務ワーキンググループ

役 職	職 名	氏 名
座 長	大分県生活環境部自然保護推進室 参事	河野 淳一
	熊本県阿蘇市経済部観光課 課長補佐	石松 昭信
	鹿児島県霧島市上下水道部参事兼水道管理課 課長 (前 霧島ジオパーク推進課 課長)	坂之上浩幸
	九州旅客鉄道株式会社 大分支社大分鉄道事業部運輸助役	森山 貴司
	九州旅客鉄道株式会社 大分支社総務企画課	迫 翔平
	大分県企画振興部交通政策課 参事	島田 忠
	大分県商工観光労働部観光局観光誘致促進室 室長補佐	河室 幸一
	大分県生活環境部自然保護推進室 室長補佐 (総括)	松木 京子
	〃 温泉・地域資源活用班 副主幹	毛利 篤史
	〃 〃 副主幹	三浦 陽
	〃 〃 主査	藤原 国治
	〃 〃 主事	阿部 博文

分科会・発表ワーキンググループ

役 職	職 名	氏 名
座 長	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 専門員	吉岡 敏和
	熊本県阿蘇市経済部観光課 課長補佐	石松 昭信
	島原半島ジオパーク協議会 事務局次長	大野 希一
	天草ジオパーク推進協議会 専門員	鶴飼 宏明

ブースワーキンググループ

役 職	職 名	氏 名
座 長	おおいた豊後大野ジオパーク認定ガイド	本田 章博
	三重町料飲店組合代表	角田 英之
	道の駅研究会	和田 猛
	一般社団法人 ふんご大野里の旅公社	江副 雄貴
	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 事務局次長	渡部 美絵
	〃 事務局員	神志那庸一
	〃	山田 哲平

ツアーワーキンググループ (姫島)

役 職	職 名	氏 名
座 長	NPO法人 桜島ミュージアム 理事長	福島 大輔
	おおいた姫島ジオパーク認定ガイド	吉田 龍夫
	〃	波戸崎京子
	〃	松原しおり
	〃	安西千代里
	〃	中元 一郎
	姫島エコツーリズム(T・プラン株式会社)	伊井誉思香
	ボランティア	藤本 只勝
	大帯八幡社 宮司	江原不可止
	姫島村役場 水産・観光商工課	須賀 香葉
	おおいた姫島ジオパーク推進協議会 事務局長	須賀 宣光
	〃 事務局次長	須賀 猛明
	〃 専門員	堀内 悠
	〃 事務局員	北村 幸子

ツアーワーキンググループ (豊後大野)

役 職	職 名	氏 名
座 長	ツーリズム豊後大野 代表	芝崎 聡通
	おおいた豊後大野ジオパーク認定ガイド	衛藤ツネ子
	〃	後藤 竹義
	〃	高野 京子
	NPO法人 おくふんごツーリズム研究所	渡部 順子
	一般社団法人 ふんご大野里の旅公社	江副 雄貴
	〃	深田アレックス誠
	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 事務局員	豊田 徹士

スペシャルサンクス（順不同・敬称略）

- 九州ジオパークの皆様
- 姫島村民の皆様
- キツネ踊り保存会
- だるま旅館
- ロジ姫島
- かのや
- 株式会社おおいた姫島
- 豊後大野市民の皆様
- ヤマト運輸株式会社 三重センター
- 九州電力株式会社 大分支社
- 豊後大野市地域おこし協力隊
- 社会福祉法人大分県聴覚障害者協会
- 緒方暁太鼓
- 豊後大野市の絵画愛好者の皆様
- 社会福祉法人千仁会 千歳ハイツイエブル
- ぶんどおの未来カフェ実行委員会
- 道の駅きよかわ
- 道の駅おの
- つしまや新
- ワークプリント
- 普光寺住職 滝本峰翠
- The Vege Cafe Ms.
- 茶寮 やませみ
- 三国家旅館
- 久住高原コテージ
- 大分県立三重総合高等学校自然科学部
- 豊後大野市青年団なないるベース
- レディース整体療術院 奏~かなで~
- パン工房 ラ・ブーカ
- 農事組合法人プロスパ生産組合
- 犬飼まちづくり協議会
- 国土交通省九州地方整備局 立野ダム工事事務所
- NPO法人押戸石の丘
- 兵庫神戸県人会
- 大分大学
- 社会福祉法人暁雲福祉会 森のクレヨン
- 株式会社大分まちなか倶楽部
- 一般財団法人日本造園修景協会大分県支部
- 株式会社財界九州社
- 大分銀行 県庁内支店・三重支店・犬飼支店・緒方支店
- 大分県立美術館
- 少年少女科学体験スペースO-Labo
- iichiko総合文化センター
- 一般社団法人大分県労働福祉会館（ソレイユ）
- 姫島村立姫島小学校・豊後大野市立百枝小学校の児童・教職員の皆様
- 姫島中学校の皆様
- おおいた姫島ジオガイドの皆様
- 安西旅館
- 民宿村さ来
- まるい商事
- 民宿姫茶屋
- おおいた豊後大野ジオパークガイドの皆様
- 佐川急便株式会社 竹田営業所
- 豊後大野市女性団体連絡協議会
- 豊後大野市ケーブルテレビセンター
- 豊後大野市地球温暖化防止協議会
- 豊勇會
- 牟礼鶴酒造合資会社
- 千歳ハイツイエブル
- 道の駅あさじ
- 株式会社成美
- カフェダイニングヒラソル
- 辻河原石風呂保存会
- 鷹来屋 浜嶋酒造合資会社
- TANTO
- レストラン白滝
- 岡城天然温泉 月のしずく
- ゲストハウスLAMP豊後大野
- SDGs研修会（10月開催）参加者
- 藤居醸造合資会社
- 株式会社ごとう
- 鈴らん
- 阿蘇ホテル一番館
- 阿蘇東急ゴルフクラブ
- 阿蘇ジオパークガイドの皆様
- 姫島村老人クラブ連合会
- 姫島車えび養殖株式会社
- 八千代館
- もりえい
- ピ・ポーン
- 姫島エコツーリズム
- 姫島村婦人会
- ペンション野路菊
- 姫乃家
- 東みやげ店
- 姫島村商工会
- 大野郡森林組合
- 水土里ネット大分南部事務所
- 西宮神社三重神楽社
- 手づくりの店ホープ
- Cafe月の舎
- 道の駅原尻の滝
- 蛸の杜
- 豊後大野市商工会
- 川辺椎茸生産組合
- 農産物加工所 そら
- ささや
- HOTEL AZ 大分三重店
- 長湯温泉 大丸旅館
- 竹田市
- ツアーリズム豊後大野
- 有限会社橋本書林
- 有限会社合名酒舗
- 九州旅客鉄道株式会社 大分支社
- 立命館アジア太平洋大学
- おおいたインフォメーションハウス株式会社
- 大分市竹町通商店街振興組合
- NPO法人大分環境カウンセラー協会
- 株式会社東方通信社
- 大分県信用組合 県庁内支店・三重支店・緒方支店・大野支店
- J:COM ホルトホール大分
- 長者原ビジターセンター
- 京都大学
- 大分高等学校書道部
- おおいた銘酒館ゆたよい
- 株式会社山と溪谷社
- 大分県信用組合 県庁内支店・三重支店・緒方支店・大野支店
- アクロス福岡



ASO GeoPARK

阿蘇ジオパーク推進協議会



大分航空ターミナル株式会社



北海道地図株式会社

九州建設コンサルタント株式会社

協同エンジニアリング株式会社

地熱ワールド工業株式会社

株式会社豊肥環境センター



島原半島ジオパーク協議会



霧島ジオパーク推進連絡協議会



桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会



三島村ジオパーク推進連絡協議会



OSKの心いっしょ
大分県産農業協同組合



大分県商工会連合会

公益社団法人大分県薬剤師会



佐伯印刷株式会社



株式会社 菅組



全日本空輸株式会社

竹田市観光ツーリズム協会



株式会社 地域科学研究所



T・プラン株式会社



JAPAN AIRLINES

日本航空株式会社

姫島車えび養殖株式会社



株式会社ブレインネット



天草ジオパーク推進協議会

大分県酒造組合



大分県信用組合

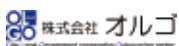
一般社団法人
大分県地質調査業協会



大分県農業協同組合



大分信用金庫



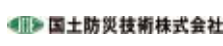
株式会社 オルゴ



株式会社川邊組



基礎地盤コンサルタンツ株式会社



国土防災技術株式会社



豊後大野市商工会
姫島村商工会



明大工業株式会社

- ・大分県温泉調査研究会
- ・大分県建設業協会 大野支部
- ・株式会社おおいた姫島
- ・株式会社技術開発コンサルタント
- ・北九州ジオパーク構想
- ・株式会社ケイミックスパブリックビジネス(豊後大野市総合文化センター指定管理者)
- ・五島列島ジオパーク推進協議会
- ・里の旅リゾート ロッジきよかわ
- ・株式会社トヨタレンタリース大分
- ・西日本技術開発株式会社
- ・西日本コンサルタント株式会社
- ・日本地研株式会社 大分支店
- ・株式会社ぶんごおおのエネルギー
- ・株式会社 ますの井